

がん種	大腸癌	レジメン名	CPT-11+パニツムマブ	1コース日数	14
対象疾患	KRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌		総コース数	病勢進行まで継続	

	投与順	薬剤	投与量	投与方法	投与時間	投与スケジュール							
						1日目	...	...	...	...	...	...	14日目
治療内容	RP2	デキサメタゾン	9.9mg	点滴静注	15分	●							休薬完了
		クロルフェニラミン	5mg										
		生理食塩液	50mL										
	RP2	パニツムマブ	6mg/kg	点滴静注	60分	●							
		生理食塩液	100mL										
	RP4	生理食塩液	50mL	点滴静注	15分	●							
		グラニセトロン	3mg/100mL	点滴静注	30分	●							
	RP3	イリノテカン	150mg/m ²	点滴静注	1.5時間	●							
		5%ブドウ糖	250mL										
RP4	生理食塩液	50mL	点滴静注	15分	●								
支持療法	day2,3デキサメタゾン8mg内服考慮 治療開始時、ミノサイクリン錠(50mg)2錠分1、ヘパリン類似物質ローション(体)1日数回使用 皮疹発現時、ヒドロコルチゾン酪酸エステルクリーム(顔)、ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏(体)、ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩ローション(頭)使用 掻痒感発現時、フェキシソフェナジン(60mg)2錠分2内服 皮疹・爪囲炎悪化時、ミノサイクリン錠(50mg)4錠分2、ヘパリン類似物質ローション(体)1日数回、ヒドロコルチゾン酪酸エステルクリームまたはベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏(顔)、クロベタゾールプロピオン酸エステルクリーム(体)、白色ワセリンまたはジメチルイソプロピルアズレン軟膏(皮膚亀裂部位)、ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩ローション(頭)使用												
備考	RAS野生型にのみ適応 イリノテカン:UGT1A1測定 適宜血中Mg測定												